

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド 2008 年度事業報告書
2008 年度 (2008 年 4 月 1 日 ~ 2009 年 3 月 31 日)

2008 年度に発表された神奈川県内の不登校児童生徒数は、児童虐待相談件数とともに全国最多となり、子どもたちを取り巻く環境は一層の厳しくなっています。

広く県内の子ども支援 N P O の存在を発信し、支援の呼びかけるために、5 月の児童福祉月間には、様々な組織・企業の協力を得て、P R 活動を展開しました。

また、子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げていくために、朗読劇「ハッピーバースデー」を、今年度は相模原で開催しました。相模原の地元実行委員会との連携のもと準備を進め、大きな感動と共感を生み出せると同時に、子どもたちを応援する人の輪が相模原へと広がりました。

N P O 助成は 6 度目となり、総額 4,500,000 円を 9 団体へ助成しました。助成上限を 80 万円に引き上げ、応募総数は 1.3 倍となりました。

100 年に一度といわれる経済危機を背景に、今後はこれまでに増して、個人からのご寄付を呼びかけていく必要がでてきています。事務局職員を 1 名増員し、運営体制の強化をはかりました。ファンドの活動をより身近に感じてもらえるよう、情報発信にも努め、ブログ開設と、日常的な更新に取り組んでいます。2009 年 1 月には、横浜市から市税控除対象法人の指定を受けました。

1 会員状況・各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

(1) 会員の増加

継続して子どもの育ちを応援してもらうために、会員制度の広報に努め、入会を呼びかけました。継続した支援とファンドの運営基盤強化の観点からはさらなる会員増が必要です。

【2009 年 3 月 31 日時点の会員数】

正会員	52 名 (前年度 44 名 比+ 8 名)
子ども応援会員	123 名・組織(前年度 99 名 + 24 名 自動払込会員 52 名含)

(2) 2008 年度の寄付受け入れに関する各種協力

横浜 F マリノスのホームゲームでのゲート募金、野球選手石井琢朗氏のファンイベントでのオークション収益寄付、お花見会、ハロウィンパーティや異業種交流会からのご寄付など、大勢の人の参加による寄付協力をいただきました。

また、寄付受け入れの環境協力として、川崎信用金庫、横浜信用金庫に続き、横浜銀行の口座でも窓口振込手数料が免除となりました。

(3) 各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

2008 年度寄付総額	: 5,989,648 円 (前年比 965,099 円)
寄付協力組織数	: 63 件 (実数)
個人寄付者数	: 119 件 (のべ人数)

【受入れ寄付金の内訳】

種 別	金額(円)	割合(%)	協力個人数	協力組織数
企業からの寄付	2,148,417	36		13
他組織のチャリティイベント等からの寄付	1,055,178	18		7
個人からの寄付	766,425	13	59	
職域での寄付	743,999	12		9
イベント出店を通じての寄付	295,567	5		6
定期定額募金 (ゆうちょ銀行からの自動払込寄付)	248,250	4	52	
応援商品寄付・書籍売上からの寄付	215,378	4		4
募金箱	195,562	4		19
インターネット寄付	158,000	2	8	
組織からの寄付	121,000	2		4
マイバッグ寄付プログラム	41,872			1
合 計	5,989,648	100	119	63

2 広報・啓発事業

(1) 「朗読劇ハッピーバースデー～チャリティ公演 2009 相模原」の実施

子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げるために、昨年に引き続き、様々な組織のご協力、ご協賛を得て「朗読劇ハッピーバースデー～チャリティ公演」を相模原で開催しました。開催地相模原では、市長を名誉委員長とする実行委員会が組織され、子どもの育ちにかかわる多数組織が参加し、子どもを応援する人の輪が広がりました。広報には、テレビCMや、タウン紙への掲載協力など、多様なメディアからのご支援をいただき幅広く展開することができました。

【朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演 2009 相模原】

公 演 日 時：2009年3月22日(日)2回公演(昼14時半～、夜18時～)

会 場：相模原市民会館(1,270名定員)相模原市中央3-13-15

主 催：朗読劇ハッピーバースデー相模原実行委員会(実行委員25名 部会委員30名)

名誉実行委員長：加山俊夫(相模原市長)、実行委員長：白井宏尚

(特)神奈川子ども未来ファンド

(有)オフィス・デュオ

(株)tvkコミュニケーションズ

出 演：内海賢二、野村道子、速見圭、斎賀みつき、安武みゆき、代永翼、小橋知子、遠藤大智、岩居由希子、小平有希、西墻由香、秦直樹

演 出：二瓶紀六

手話通訳協力：小林和子、宮崎真紀

制 作：(有)オフィス・デュオ

原 作：『ハッピーバースデー』(青木和雄・吉富多美共著 金の星社刊)

チケッ ト：3,000円(全席指定)

観客動員

総動員数 : 約1,700名(親子招待300名含)

運営ボランティア : 約130名

募金総額

1,872,127円(会場募金、書籍チャリティ販売収益含む)

協賛等

協力: (株)賢プロダクション、関内ホール、(有)オフィス・アオキ

協賛: (株)川口、エバラ食品工業(株)、タカナシ乳業(株)、(株)金の星社、弁護士法人相模原法律事務所、キリンビール(株)横浜支社

助成: NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド、(財)神奈川新聞厚生文化事業団

親子招待協賛: 大昇産業(株)、(有)市村塗装、管材機器(株)、友渡建設(株)、(有)カイショー、学生服のトバリ、相模原地域連合、相模原地域労働者福祉協議会、相模原市職員労働組合、相模原地区更生保護女性会、相模原人権擁護委員協議会、相模原中ロータリークラブ、相模原西ロータリークラブ、川崎中原ロータリークラブ、連合神奈川、自治労神奈川県職員労働組合、神奈川県教職員組合、全労済神奈川県本部、子育てサポートポッポくらぶ、ウエスト神奈川女性の人権を守る会有志、吉弘正信、高田恵子、田村宣子、桑谷忠治、桑谷栄子、福田和子、渡邊朋子、志村文江、川村和子、坂本きよか、吉川雅枝、江成幸枝、江成卓史、池田国広、森義治、曾和一夫、小林亜矢子、中西新太郎、井口学、吉富多美、青木和雄、石井琢朗

後援: 相模原市、神奈川県、相模原市教育委員会、神奈川県教育委員会、相模原市小中学校PTA連絡協議会、神奈川県教職員組合、湘北教職員組合、(財)相模原市民文化財団、(社福)相模原市社会福祉協議会、相模原ボランティア協会、相模原商工会議所、相模原市商店会連合会、(社)相模原青年会議所、(株)テレビ神奈川、神奈川新聞社、朝日新聞社横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞社横浜支局、日本経済新聞社横浜総局、産経新聞社横浜総局、東京新聞、(株)FMさがみ、FMヨコハマ、アールエフ・ラジオ日本、相模原・町田大学地域コンソーシアム <以上敬称略>

広報

記者発表 : 2008年10月23日(木) 相模原市政記者クラブ

掲載記事 : 新聞、タウン紙等13件

紹介メディア : tvk・桜木町ほか街頭ビジョンでのCM放送(5ヶ月間)の他、3回のtvk告知、アール・エフ・ラジオ日本番組内での紹介

チラシ制作枚数 : 12万枚

ポスター制作枚数 : 250枚

その他

親子招待: 150組300名を、公募により招待(昼の部のみ)。

公募は、相模原市立小中学校での全児童生徒への案内チラシ配布のほか、メディアを通じてよびかけ。2009年1月15日締切、応募総数は297通。1月19日に抽選を実施し招待者を決定。

原作者講演会: 事前広報のために実施(詳細別紙)

日時: 2009年1月24日(土) 午後2時~4時

会場: 相模原市立図書館会議室

動員数: 130名

(2) 広報、イベント・キャンペーンへの出展

年間を通じて多くの人が集まる機会に出店や展示参加を行い、広く市民や企業、組合等にファンドの認知が高まるよう取り組みました。

【神奈川子ども未来ファンドについて紹介されたメディア】

F Mヨコハマ Tips Town
放送日：2008年5月6日
内 容：神奈川子ども未来ファンド理事長の出演

日本経済新聞「神奈川を駆ける」
掲載日：2008年8月19日
内 容：神奈川子ども未来ファンド事務局長の活動紹介

N H Kおはよう首都圏 特集
放送日：2008年10月24日
内 容：神奈川子ども未来ファンドの資金調達活動の紹介

I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]発行『NPO マネジメント』57号
座談会「NPOのこれまで10年から、これから10年を見つめる」
発行日：2008年10月20日
内 容：座談会に神奈川子ども未来ファンド事務局長が参加

【展示・広報・出店等での参加】

第79回かながわ中央メーデー

開催日程：2008年4月26日(土)
会 場：みなとみらい臨港パーク
出店内容：バルーン募金、活動紹介、募金活動
主 催：同実行委員会(事務局連合神奈川)

2008 児童労働撲滅キャンペーン in 神奈川

開催日程：2008年5月30日(土)
会 場：横浜そごう正面玄関前広場
出店内容：広報パネル展示、パンフレット・チラシの配布
主 催：N T T労働組合

フリフリフリマ(青少年のサポートを行うNPOの活動紹介・相談活動)

開催日程：2008年9月13日(土)
会 場：神奈川県立青少年サポートプラザ
出店内容：飲料販売と募金活動、活動紹介
主 催：同実行委員会

ヨコハマ WaiWai フェスタ

開催日程：2008年9月27日(土)
会 場：横浜公園(横浜スタジアム横)
出店内容：バルーン募金、活動紹介、募金活動
主 催：同実行委員会(事務局横浜市労働者福祉協議会)

モトスミ・プレーメン通り商店街 フライマーケット

開催日程： 2008年10月5日(日)
会場： モトスミ・プレーメン通り商店街(川崎市中原区)
出店内容： 商店街関係者物品提供によるフリーマーケット・商店街ピンバッジチャリティ販売、活動紹介、募金活動
主催： モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合
協力： モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合・井田みずぎ子ども会

横浜F・マリノス ホームゲーム ホームゲーム募金・トリコロールランド

開催日程： 2008年10月19日(土)
会場： 日産スタジアム北ゲート・東ゲート前広場
出店内容： 募金活動、ゲートでのPRカード配布
主催： 横浜マリノス(株)

企業とNPO等との協働推進のためのフォーラム

開催日程： 2008年10月27日(月)
会場： かながわ県民センター
参加内容： 活動紹介
主催： 神奈川県、NPO法人アドバイザーネットワーク神奈川

第24回ダンボふれあいバザー

開催日程： 2008年11月23日(祝)
会場： 作業所ダンボ周辺(横浜市保土ヶ谷区和田町)
参加内容： ブース運営
主催： 地域作業所ダンボ・福祉を考える会

経済同友会NPO社会企業推進委員会シンポジウム・NPOメッセ

開催日程： 2008年12月2日(火)
出店内容： 活動紹介

横浜F・マリノス ファン感謝デー トリコロールフェスタ

開催日程： 2009年1月31日(土)
会場： マリノスタウン(みなとみらい地区 新高島町)
出店内容： 活動紹介、募金活動
協力： 横浜マリノス(株)

いき!いき!フェスタ

開催日程： 2009年3月30日(月)
会場： 神奈川県青少年センター(横浜市西区)
出店内容： 活動紹介、募金活動
主催： 神奈川県青少年センター

2. 民間非営利組織への助成・技術支援

(1) 2008年助成対象団体への技術支援

助成対象団体に、助成金を効果的に活用してもらうことを目的に実施。

対象： 2008年神奈川県子ども未来ファンド助成対象団体（うち希望した2団体）

内容： NPO実務（労務）・団体担い手の育成について

方法： 団体の希望に応じて、以下の専門家から1名が、団体を訪問。

相談、アドバイスをいたしました。（ファンド事務局が同行）

【相談対応をいただいた専門家の方々】

* 青木将幸氏（青木将幸ファシリテーター事務所、国際青年環境NGO・A SEED JAPAN 理事）

* 堀真一郎氏（社会保険労務士・中小企業診断士）

(2) 2009年助成選考委員会設置と選考

各方面の専門家による2009年神奈川県子ども未来ファンド助成選考委員会を設置し、選考委員会にて選考基準、選考方法を決定の後、対象団体の選考を行いました。

【2009年助成選考委員】

委員長： 竹下宏之氏（神奈川県日産自動車株式会社前会長）

副委員長： 岩船弘美氏（男女共同参画センター横浜北館長）

委員： 青木将幸氏（国際青年環境NGO・A SEED JAPAN 理事）

飯島奈津子氏（横浜弁護士会子どもの権利委員会委員）

おちとよこ氏（ジャーナリスト、絵本児童書作家、高齢者問題研究家）

【2009年助成選考委員会開催状況】

第1回 2008年9月10日（水）10時～12時 かながわ県民活動サポートセンター会議室

第2回 2009年2月26日（木）9時半～13時半 かながわ県民活動サポートセンター会議室

(3) 2009年助成公募広報、助成説明会の開催

2009年助成を県内NPOへ広く広報し、個別団体からの事前相談に対応をしました。

今年度は、県内のNPO支援センターへ働きかけ、複数の資金リソースを情報提供する形態の助成説明会を、各地支援センターと連携して開催しました。

【2009年助成 助成説明会】

横浜市開催（平日昼）

開催日程： 2008年10月10日（金）13時半～15時半

会場： 横浜市市民活動支援センター会議室

内容： 神奈川県子ども未来ファンドの他、福祉医療機構 長寿・子育て・障害者基金、横浜市社会福祉協議会横浜市ボランティアセンターの助成事業の紹介

共催団体： 横浜市市民活動支援センター

湘南地区開催

開催日程： 2008年11月6日（木）10～12時半

会場： ニッセイライフプラザ湘南セミナールーム（日本生命藤沢駅前ビル8階）

内容： 神奈川県子ども未来ファンドの他、JT青少年育成に関するNPO助成事業の紹介

共催団体： NPO法人ふじさわNPO連絡会、NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会

NPO法人NPOサポートちがさき、NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議

横浜開催（平日夜）

開催日程： 2008年11月6日（木）18時～

会場： かながわ県民活動サポートセンター協働・交流スペース1

内容： ボランティア基金21公募説明会の中で神奈川子ども未来ファンドも紹介

主催団体： かながわ県民活動サポートセンター基金事業課

横浜開催（平日夜）

開催日程： 2008年12月5日（金）19時～20時半

会場： かながわ県民活動サポートセンター会議室

内容： ミニレクチャー助成申請のポイント、神奈川子ども未来ファンド助成の紹介

* ファンド単独開催

（4）2009年助成対象団体の決定と実施

21団体から応募があり、選考委員会の選考に基づき、総額4,500,000円を助成することを決定し、助成を行いました。

【2009年助成対象団体一覧】 助成総額 4,500,000円

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	【継続助成】 片倉うさぎ山公園 あそび場管理運営委員会	<冒険遊び場> プレイパーク運営強化とプレイパーク出張事業	横浜	580,000
2	【継続助成】 (特)くじらくも	<障がい児の学習支援> 教育現場における支援方法講習会の拡大	横浜	350,000
3	【継続助成】 ウエスト神奈川 女性の人権を守る会	<DV被害者のシェルター> 子どもの心身ケアのため、子ども担当スタッフの 専門性強化	西湘地区	400,000
4	【継続助成】 (特)アンガージュマン・ よこすか	<ひきこもりの若者の就労支援活動> 本屋でコラボで読み聞かせ事業	横須賀	560,000
5	(特)子どもセンターてんぼ	<子どものシェルター> 電話相談員養成事業、滞在者同行支援事業	横浜	800,000
6	(特)シャーロックホームズ	<不登校 ひきこもり、フリースペース・相談> 青少年自立支援(不登校児童・生徒への学習支援)	横浜	800,000
7	(特)地球学校	<外国籍児童の学習支援> 外国につながる子どもの日本語指導・独自の漢字学習教材作成	横浜	410,000
8	(特)まんま	<子育て支援・親子サロン> 交通不便地域での商業施設出前ひろば	横浜	250,000
9	子どもネット・コスモス	<不登校 障がい児の学習支援活動> 子ども学習サポート事業	横浜	350,000

3. 子ども・若者、子育てに関する活動調査と情報収集・提供

(1) WEBサイトの運営・携帯サイトの開設

子どもの居場所情報を検索できるデータベース「子どもの居場所情報箱(以下「情報箱」)」は、登録団体数を増やし、情報の更新など充実に努めました。また、より多くの子ども・若者、子育て中の親に利用してもらうことを目的に携帯モバイル版を4月に開設しました。

WEBサイト 年度末カウント数(2009年3月31日現在)82,437(年間24,666カウント)

(2) メールマガジン、広報紙発行

年4回発行の広報紙と月1回発行のメールマガジンを定期発行し、ファンドの活動報告や、寄せられた支援、助成対象団体の紹介などを行いました。

メールマガジン 月間+特別号 計15回発行
広報紙「ハンズ to ハンズ」18号~21号を発行
18号(3,000部)、19~21号(各2,000部)

(3) 広域への情報発信・PR活動

データベース「情報箱」と神奈川子ども未来ファンドのPRを目的とする「子ども・子育て応援PRカード」を作成し*、企業や各種組織の協力で、広範囲での配布が実現しました。

また、データベースの情報を元に情報提供を行う冊子「働く人の子育て応援BOOK神奈川」を中央労働金庫とのコラボレーションで発行し、県内のろうきん全支店への設置、や各種組合へ配布をいただきました。

*カード制作：平成19年度郵便事業(株)年賀寄附金助成事業

<PRカード>

製作総数 : 39万枚(初刷34万枚)

配布協力組織:

子育て支援タクシー

三ツ境交通有限会社(営業エリア:横浜市瀬谷区・旭区)

有限会社富士タクシー(営業エリア:横須賀市)

神奈川県アミューズメント施設協会加盟全店舗(93カ所)

コンビニエンスストア:ハッピーローソン(横浜市中区山下公園店)

コンビニエンスストア:スリーエフ(神奈川県内全店舗197カ所)

書店:有隣堂(神奈川県内全店舗17カ所)

学校での配布:横浜市PTA連絡協議会(加入全世帯への配布)

イベントでの配布

横浜F・マリノス J1リーグホームゲーム(10月19日 日産スタジアム)

みなとみらい地区ヨコハマ・ワールドウォーク(5月5日 横浜市体育協会主催)

<広報冊子製作協力>

「働く人の子育て応援BOOK神奈川」

発行者: 中央労働金庫

発行部数: 10,000部(初刷)

配布先: 県内のろうきん全支店への設置、や各種組合へ配布

(4) 中小企業の子ども・子育て家庭に対する貢献取り組み調査(神奈川県健康福祉部子育て支援部協働事業)

昨年に引き続き、神奈川県との協働事業として、中小企業の子ども・子育て家庭に対する貢献活動調査のために県内の経済団体、事業団体へヒアリングを行い、行政、市民、関係機関、企業・事業所が連携して子ども・子育て支援を進めていくための連携の素地づくりに努めました。

<ヒアリング先> 計18カ所

(社団)神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、(社団)神奈川県経済同友会、神奈川県中小企業団体中央会、(社団)神奈川県経営者協会、横浜商工会議所、川崎商工会議所、横須賀商工会議所、相模原商工会議所、平塚商工会議所、厚木商工会議所、南足柄商工会、JA神奈川県中央会、(社団)神奈川県乳業協会、神奈川県書店商業組合、神奈川県信用金庫組合、生命保険協会神奈川県事務室、神奈川県アミューズメント施設営業者協会

(5) 地域・公益ポータル推進プロジェクト

NPOへの支援や連携、利用を促していくために、NPOの信頼性を高める取組みとして、全国の20の中間支援組織が連携して全国各地で設置を進める地域・公益ポータル推進プロジェクトに参加しました。関連セミナーとして、県内で、NPOと企業それぞれを対象とするセミナーを主催、協働に関するワークショップを共催しました。

情報開示ワークショップ「支援を集める団体紹介シートづくりワークショップ」

開催日程： 2008年7月23日(水)17時半～20時半

会場： 県立青少年センター別館青少年サポートプラザ会議室

講師： 川北秀人氏(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表)
荻上健太郎氏(日本財団経営企画グループ情報コミュニケーション担当リーダー)

内容： NPOにとっての情報開示の意義、ポイント
情報開示に使える仕組み紹介

(神奈川県子ども未来ファンド子どもの居場所情報箱、日本財団CANPAN)

共催団体： NPO法人市民セクターよこはま

CSRセミナー「地域を育てるCSRを経営戦略に！」

開催日程： 2008年12月16日(火)13時半～16時半

会場： 神奈川中小企業センタービル13F第2会議室(横浜市中区)

講師： 川北秀人氏(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表)

野老真理子氏(大里総合管理株式会社 代表取締役)

工藤圭亮氏(横浜建設業青年会H19年度会長、昭和建設株式会社代表取締役)

影山摩子弥氏(横浜市立大学CSRセンター 所長)

荻上健太郎氏(日本財団経営企画グループ情報コミュニケーション担当リーダー)

柴田仁夫氏(財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部経営支援課)

内容： 企業がCSRに取り組む意義、CSRを取り巻く動向、CSR取組み事例の紹介、CSRに活用できる各種制度仕組みの紹介(横浜CSRサイト、CANPAN、横浜型地域貢献企業認定制度)

共催団体： NPO法人市民セクターよこはま

開催協力： IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]、日本財団 CANPAN

後援団体： 神奈川県、横浜市経済観光局、横浜市市民活力推進局、横浜市こども青少年局、川崎市、(社団)神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、(社団)神奈川県経済同友会、神奈川県中小企業団体中央会、(社団)神奈川県経営者協会、横浜商工会議所、川崎商工会議所、(財)横浜企業経営支援財団、横浜市立大学CSRセンター

< 共 催 >

協働環境ワークショップ

- 開催日程： 2008年11月26日（水）
会 場： 横浜市市民活動支援センター会議室
講 師： 川北 秀人氏（IHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表）
 荻上健太郎氏（日本財団経営企画グループ情報コミュニケーション担当リーダー）
内 容： 協働を実現するための課題・解決方法に関するワーク、
 情報開示に使える仕組み紹介（日本財団CANPAN）
主催団体： NPO法人市民セクターよこはま

（6）各種協議会等への参加、講師対応

昨年に引き続き「神奈川フリースクール・フリースペースNPOネットワーク」に参加し、2008年12月には、神奈川県子ども・子育て支援推進協議会へも新規加入した。

ほかに、ファンド事務局等が、2008年度に対応した講師依頼や各種審議会・委員会は、次の通り

【講師・パネリスト等】

- 横浜市経済観光局主催コミュニティ・ビジネス入門講座講師（2008年7月26日）
アリスセンター主催「NPOの資金調達を考える」（2008年7月30日）
横浜市体育協会主催地域クラブ・アシスタント養成講座講師（2008年12月4日）
横浜市社会教育コーナー生涯学習コーディネーター養成講座講師（2008年10月11日）
神奈川県主催かながわコミュニティカレッジNPOマネジメントセミナー講師（2008年10月30日）
神奈川県自治研センターNPO当活動交流研修講師（2008年10月16日）
起業家支援財団主催学生起業塾講師（2009年1月18日）
国際障害者年記念ナイスハート基金主催ふれあいの音楽広場事業講師（2009年2月21日）
神奈川県ボランティア活動奨励賞表彰式・助成終了事業成果報告会パネルディスカッション講師
（2009年3月6日）
横浜ベンチャーポート主催ソーシャルアントレプレナーテーマ別勉強会講師（2008年10月8日）
平成20年度ボランティア活動奨励賞表彰式&平成19年度助成終了事業性か報告会パネルディス
カッション講師（2009年3月6日）

【各種審議会・委員会】

- 横浜市児童福祉審議会委員
横浜市男女共同参画推進審議会委員
横浜市ワーク・ライフ・バランス実行委員会委員
働きやすく子育てしやすい横浜の企業認定委員会委員
横浜市両立支援アドバイザー派遣事業検討会（会長）
横浜市親と子のつどいの広場運営協議会委員
横浜市ボランティアセンター運営委員
神奈川県高等学校教育会館評議員
全労災地域貢献助成事業子ども分野選考委員

4．神奈川子ども未来ファンドの組織基盤強化に関する取り組み

(1) 事務局体制の強化

寄せられる支援の増加に伴い、期待に応え、より支援の輪を広げていく体制をつくるために4月に事務局職員を1名増員し、専従2名、非専従2名の体制としました。

(2) 認定NPO法人の再申請

ファンドの信頼性の向上と資金調達力を高めることを目的に、2007年4月に取得した国税庁の認定期限2009年3月31日以降も引き続き、認定を得るための再申請手続きを行いました。

(3) 個人住民税控除対象法人の指定

横浜市の条例に基づき、市税控除対象法人の申請を行い、指定法人となりました。

(4) 横浜市市民活動支援センター「ボランティア夏塾」塾生の受入

横浜市市民活動支援センターが実施する「ボランティア夏塾」に協力し、4度目の塾生受け入れを行いました。2008年度インターン生3名には、「子どもの居場所情報箱」の更新作業、各種イベントでの広報・募金活動などの活動体験してもらうことができました。

(5) 横浜若者サポートステーションからのボランティア受入

就職を考えているものの、様々な課題により「一歩」が踏み出せない若者の社会体験の機会として、ボランティアの受け入れを行いました。発送作業や資料印刷などの実務作業、イベント出展等の活動に参加をしてもらうことができました。

以上